

消費税10% 暮らしていけぬ

派遣社員

(大阪府 53)

民主党政権では社会保障の充

消費税率を来年10月、10%に引き上げるか、安倍晋三首相が12月に判断するということですが、いま一度再考して下さい。

民主党政権では社会保障の充実を前面に、消費増税を訴えていたと記憶しています。今の安倍政権は2年で物価上昇2%を達成して投資や消費を促し、雇用や賃金増につなげると主張していますが、我が家は値上げに見合うだけ収入が上がらず、不可解な気持ちでいっぱいです。

家計簿を見て、8%に上がった今年4月から10月まで7カ月の消費税を計算したら、純粋な食料品にかかる消費税(外食費を除く)だけでも2万7412円。昨年1年間の2万8460円と既に同じくらいです。

食料品は生きる上で不可欠なのに10%もの消費税がかかり、さらに本体価格まで上がっては

スーパーの商品を見ても、増税額分はともかく、牛乳、小麦粉、ヨーグルトなど多くの本体価格が値上がりし、中には15%以上も上がっているものがあり、家計を圧迫しています。

宝飾品などぜいたくな物の税率をもっと上げてはどうでしょうか。高額所得者の所得税率を引き上げ、低所得者は引き下げるとかの策を講じて頂けないことには、私たち貧乏人は生きていけません。